信州日報
（昭和29年7月22日第三種郵便物認可）

ニホンジカ5千頭捕獲

飯伊野生鳥獣被害対策チーム 竜西に生息域拡大

下伊那地方事務所内の関係部署で構成する飯伊野生鳥獣被害対策チーム（班長・松本善彦副所長）は二日、県飯田合同庁舎で今年度第一回会議を開いた。〇九年度の活動状況を確認し、ニホンジカの捕獲頭数は個体数調整実績値の四千百七十二頭に、狩猟数予測値の約千頭を加えた約五千頭は過去最多の数値となった。初めて実施したメッシュ別地図調査により、生息域が竜東から竜西に拡大していることも報告された。

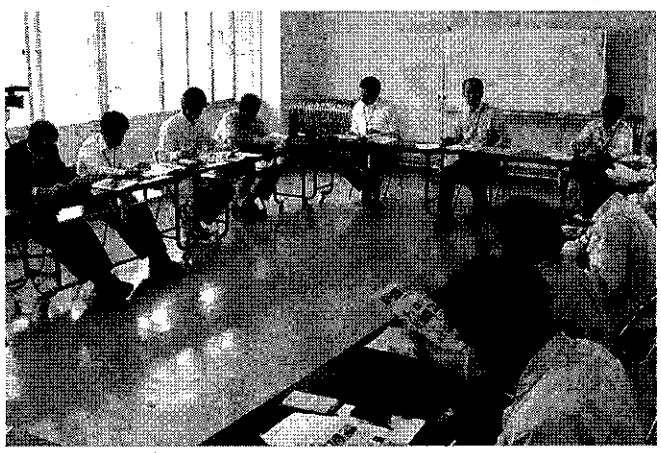
管内におけるニホンジカの〇九年度個体数調整数は雌千七百八十三頭、雌二千三百八十九頭で、合計頭数は目標値の三千二百二十頭を大きく上回った。基準年の〇六年度に比べ二〇六%増加。以前は被害数の少なかった下伊那郡西部でもシカの出没が増えている。

下伊那地方事務所林務課は「シカ自体の生息数が増えているかは不明だが、市町村が報償金を出すなどして狩猟の努力が強まっているのは事実」と説明する。

今回初めてデータ化した五㌔四方のメッシュ別捕獲頭数地図を見ると、個体数調整は管内のほぼ全域に拡大した。とりわけ飯田市上久堅卯月山周辺は三百五頭以上の実績となり、同市上村上町周辺の二百十六頭、喬木村の二百六頭などを大きく上回った。上久堅は〇八年度に総延長十一㌔にわたる鳥獣害防止柵を設置しており、〇九年度は同柵沿いのけもの道にワナを仕掛けたところ、捕獲数が一気に増加したと見られる。

これらの状況を踏まえ、▽狩猟者の確保▽守る（防具柵等）▽獲る（生息数を減らす）▽食べる（ジビエ料理の普及とブランド化）▽情報を活かす▽理解を広める―を引き続き進めていくと確認。

協議では「狩猟者の後方支援につながるよう上流から下流まで一体的な取り組みを」「野生鳥獣保護の観点で訴える住民にも取り組みの趣旨を理解してもらう活動を」「極端にいうと鳥獣害対策は個人の仕事。できるだけ自立に向けた取り組みを強めていくべき」などの意見が交わされた。


飯伊野生鳥獣被害対策チーム会議

航空宇宙産業へ参入めざす

三遠南信クラスター 世界の情勢学ぶ講演会

三遠南信クラスター推進会議航空宇宙産業クラスタープロジェクト主催の特別講演会「航空宇宙産業における熱処理」は二日、飯田市上郷別府の飯伊地域地場産業振興センターであった。熱処理の特殊加工を専門とするボディコート社（本社・イギリス）から講師を招いて、日本国内でのプロジェクト展開を考える同社の構想を聞き、飯伊にとって新たなビジネスチャンス創出の契機にしたいと図った。

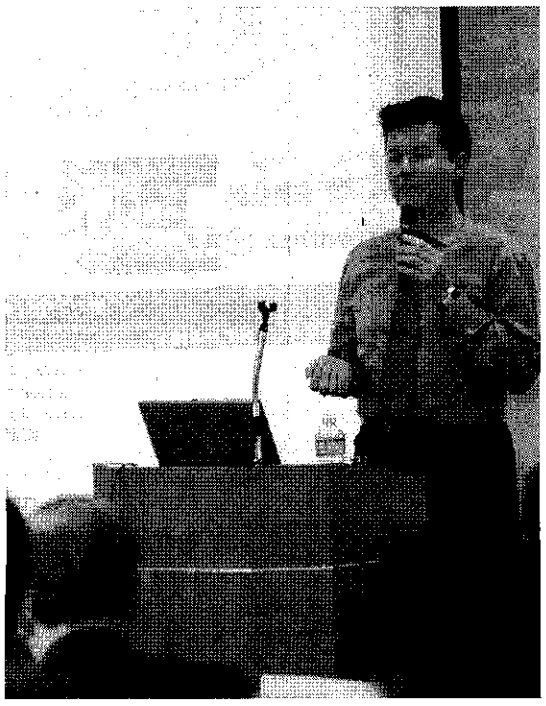
ボディコート社は世界最大手の熱処理加工業者として知られ、〇七年度の売上げは十億米ドル超とされる。〇八年に名古屋市を拠点にボディコート・ジャパン株式会社を置き、国内市場で事業を展開している。

ボディコート・ジャパン代表取締役のジュリアン・ベイショア氏が講演会の講師を務め、飯伊の製造業約三十社から六十人が聴講した。

ジュリアン氏は同社の世界戦略や航空機産業との関わりを述べながら「航空機産業は長い間、仕入先を一社に絞る様式が続いてきた。しかしその一社の廃業によって、欧米では産業自体の空洞化が進みつつある」と指摘。現在はリスクを分散するため複数企業との取引が進む傾向だといい、日本でのビジネスも拡大する見通しだと伝えた。

プロジェクトの事務局を務める飯伊地域地場産業振興センター、飯田市工業課によると、飯伊は航空宇宙プロジェクトが実績を挙げつつあるが、熱処理などの特殊工程を担う地元企業がないのが課題。国内でのプロジェクト展開を進めているボディコート・ジャパンと関係性を強くすることで、航空宇宙産業参入の可能性を強めたい思惑がある。

講演会後、参加者はジュリアン氏と名刺を交換しながら、中京圏域と地理的に近い位置にある飯伊の優位性を紹介するなど積極的に情報交換を行っていた。


ボディコート社のジュリアン氏が講演

航空宇宙MROフォーラム 16日

三遠南信クラスター推進会議航空宇宙産業クラスタープロジェクトは十六日午後一時から、飯田市本町一の飯田信用金庫二階会議室で「航空宇宙MROフォーラム」を開く。参加費無料、定員五十人。

航空宇宙産業分野で重要な役割を担うとされるMRO（メンテナンス・リペア・オーバーホール）は、航空機産業の発展とともに今後新規参入の可能性が高まってくると考えられる。フォーラムでは同分野の専門家を講師に迎え、MROビジネスの概要と参入の可能性を聞き、今後の地域戦略の参考にしていく。

一時十分からJALエアロ・コンサルティング小林哲也常務による基調講演「MROビジネスの概要と参入について」。三時からJAMCO遠藤怜代表取締役副社長による講演「JAMCOのMRO事業紹介」、三徳航空電装の藤田嘉三代表取締役社長による講演「三徳航空電装のMRO事業紹介」。五時半から企業交流会もある。

問い合わせは飯伊地域地場産業振興センター☎0265(52)1613へ。

鵞流峡の治水検討へ

国土交通省 松尾・下久堅協議会8日

国土交通省天竜川上流河川事務所は八日午後一時から、飯田市川路の天竜川総合学習館かわらんべで第一回松尾・下久堅地区治水事業協議会を開く。両地区の間に位置する天竜川の鵞流峡（がりゅうきょう）の治水事業計画を進めるため、治水、環境、景観、河川利用の観点から学識経験者や地域住民、団体、企業、自治体等の意見を取りまとめていく。

鵞流峡は県立公園第二種特別地域に指定され、豊かな自然環境や渓谷美を有し、舟下りやラフティング等で盛んに利用されている。一方、川幅が狭いため過去の大きな氾らんの原因となり、同事務所は付近の治水事業計画を検討している。

国土交通省中部地方整備局が〇九年に策定した天竜川河川整備計画は、鵞流峡における水位上昇が高い危険性を持つと指摘し、河道掘削による水位低下の対策を明記。「河道掘削は景観におよぼす影響が少ないと考えられるため、模型実験等による掘削形状等の詳細な検討の上、関係機関等と十分に調整して行う」などと触れている。

同協議会では、安心・安全な地域づくりや河川利用ができる治水対策に着目して意見交換を図っていく。

同協議会の委員はつぎのとおり。

◎北澤秋司（信州大学名誉教授）、〇小西純一（同）、今牧嗣昌（有限会社アルプスぼうけん組楽部代表取締役）、大平盛男（飯田市龍江地区代表）、熊谷美夫（河川愛護モニター）、粂原和代（飯田市産業経済部長）、下平正之（飯田市竜丘地区代表）、菅沼良收（飯田市建設部長）、須山和彦（飯田市在住・公募）、田畑保廣（飯田市川路地区代表）、牧野明仁（天竜舟下り株式会社代表取締役社長）、松田耕吉（飯田市松尾地区代表）、三浦務（駒ケ根市在住・公募）、三井宏人（長野県飯田建設事務所長）、三ツ石史隆（飯田市在住・公募）、宮内達男（飯田市下久堅地区代表）、山下一幸（下伊那漁業協同組合理事）、吉川篤（特定非営利活動法人天竜川ゆめ会議副理事長）、草野慎一（天竜川上流河川事務所長）

産経委員長として活動報告

全国市議会議長会で 飯田市の中島議長

全国市議会議長会（会長・五本幸正富山市議会議長）の第八十六回定期総会はこのほど都内で開かれ、飯田市議会の中島武津雄議長が産業経済委員会委員長として出席した。議事では各委員会報告に続いて議案審議を行い、「地域主権改革の推進に関する決議」「地方税財源の充実強化に関する決議」を満場一致で議決した。合わせて国会議員への要望活動も行った。

中島産経委員長は委員会報告で、農林水産業の振興や中小企業振興など地域振興に欠かせない分野について国関係機関に要望活動を行ってきたと述べた。

農業分野では改正農地制度の実務に当たる農業委員会の支援強化を求め、農業委員会交付金や農地制度実施円滑化事業費補助金などの所要額が確保されるなど一定の成果を得たと説明。宮崎県で発生している口蹄疫に関しても、一層の防疫体制強化や畜産農家への経済補償、関係自治体への財政支援が急務だとする考えを語った。

中小企業の経営支援策として、〇九年度で期限切れとなった緊急保証制度の延長を求めたところ、これに代わる景気対応緊急保証が創設されて今年度末まで支援が延長されるとともに、セーフティネット貸付についても一年間の延長が図られたとした。

五本会長は「地方財政は三位一体改革で大幅に交付税が削減され、未曾有の厳しい状況におちいっている。地域主権改革、地方財政の確保が急務だ。地方議会の機能を高め、地方政府基本法の成立を求める」と主張し、議員年金の方向性を出すのは秋口までが目安だとした。続いた内閣官房副長官らの来賓祝辞もあった。

全国市議会議長会定期総会で中島産経委員長が報告

星座

牡羊座 3/21▶4/1
牡牛座 4/20▶5/2
双子座 5/21▶6/2
蟹座 6/22▶7/2
獅子座 7/23▶8/2
乙女座 8/23▶9/2
天秤座 9/23▶10/2
蠍座 10/24▶11/
射手座 11/23▶12/
山羊座 12/22▶1/1
水瓶座 1/20▶2/1
魚座 2/19▶3/2

今日

例会情報

飯田南ロータリークラブ（古川善行会長）の第二一三七例会は、四日午後零時半から飯田市羽場坂のマリエール飯田で。ブラジル日系人スポーツ文化協会社会部部長兼飯田市外国人相談窓口相談員・長沼映子さんの卓話「ブラジル移民と日本における現状」。

ポケット 4日

■飯田市▼はかりの定期検査＝午前十時～南信濃地域交流センター、午後一時～上村自治振興センター

◆各種相談▼長野地方法務局飯田支局の人権ふれあい相談＝午前九時～午後四時・同支局▼八十二銀行年金相談＝午前十時～午後三時・松川支店▼飯田信用金庫年金相談＝午前十時～午後四時・伊賀良支店

夜間の急病急患は休日夜間急患診療所☎0265(23)3636（飯田市東中央通り）
▽診療科目▽内科、小児科
▽診療時間▽午後七時～午後十時半（電話での受付は午後十時まで）
▽休日夜間電話案内（二十四時間）＝☎0265(23)3636、☎0120-890-422